

第5回麻布大学 発生・生殖工学セミナー

第5回 麻布大学 発生・生殖工学セミナー

—ブタの生殖工学—

序

第五回目の麻布大学発生・生殖工学セミナーとして「ブタの生殖工学」を開催いたしました。ここにその講演要旨を掲載させていただきます。

ブタは、我々人類にとって非常に重要な肉用家畜で、有史以来利用してきた動物です。現在、全世界で約9億頭、日本においては約1千万頭が飼育されています。さらに最近では、医学関連領域へのブタの応用が期待されています。すなわち、ヒトの臓器移植のためのドナーとしてブタや「ヒトの治療用の細胞、組織、臓器やタンパク質」を作るブタを開発することがさかんに試みられています。その理由として、ブタは生産性の高い家畜で、かつ生理学的・解剖学的にヒトに類似し、実験用動物としても重要な動物であるからです。またその繁殖特性（多産で世代間隔が短い）、さらには遺伝子導入技術の応用などの人為的操作に対する社会的、倫理的な許容性が高いことから、ブタは遺伝子導入のホスト動物として非常に適した動物であるからです。

これらの研究開発の推進やブタの生産性をドラスティックに改変するのに欠かすことのできないものが「ブタの生殖工学」であります。本セミナーでは、ブタにおけるクローンや遺伝子導入動物の作製あるいはその材料を効率的に供給する胚の体外生産系に関する研究分野で、世界的に非常に活潑にご活躍されている研究者の方々にご講演をお願い致しました。

最後に、このセミナーに貴重なご演題を賜った演者の先生方、ご参加下さった皆様、本セミナー開催にご協力頂きました政岡学長や本学関係者、動物繁殖学研究室スタッフ、全ての方々に深甚の謝意を表します。

柏崎直巳
麻布大学獣医学部動物繁殖学研究室